

令和六年度（1A） 国語

※字数制限があるものに関しては、全て句読点等も一字に含みます。

一 次の文章を読んで後の問一～問十一に答えなさい。

（文章A）

自然科学では「①方法」は具体的な方法を指すんです。I ①どんな薬品をどう使ったのか、どんなaケンピキヨウを使ったのか、なにかの数を数えたとすれば、どうやって数えたのか。だから科学論文を見ると、かならず「材料と方法」という項目があります。そこに、そういう具体的な方法を書くんですよ。

でもその「方法」の意味が、私の場合には違っちゃった。ものの見方、考え方が「方法」になってしまったんです。なぜそうなったか、その説明を長々としてきたんですよ。つまり紛争の影響です。なにしろ「学問とはなんだ」、「研究とはなんだ」、「大学とはなんだ」ですからね。そういう問題について「方法」を考えたら、どうしたって「A」になります。だから「哲学だ」っていわれたんでしょね。

私のその方法とは、どこにあるのか。脳に決まってるじゃないですか。「材料と方法」のほかに、科学論文にかならず書かれているものがあります。それは著者の名前です。これもじつは「方法」でしょ。その人の脳ミソが使われてるからです。ほかの人の脳ミソを使ったわけじゃない。それが著者名になるわけです。著者名こそ、まさに「脳という方法」なんですよ。

論文で他人の脳ミソをうつかり使うと、叱られます。剽窃だといわれる。これはむずかしい言葉ですな。要するにドロボーですよ。逆に、②独創的だということになると、方法である著者の脳ミソがb誉めてもらえる。うまくいけば、ノーベル賞がもらえます。そういう人は「頭がいい」ってことになる。つまり「使える脳だ」ってことじゃないですか。それに比べたら、たいていの人の脳は、「使えない脳」ってことになる。

じゃあ、その独創的な業績が、だれにもわからないほどむずかしかったら、どうなりますか。世間には認められませんか。もう例にあげた、メンデルの法則です。つまり独創的な業績とは、勉強すれば、だれにでもわかるけど、だれでも気がつくほどには、フツウのことじゃない。「だれにでもわかる」ってほうに重点を置けば、偉大な業績とはきわめて平凡なものです。なぜかって、「だれにでもわかる」からです。あたりまえじゃないですか。でも「だれでも気がつく」というほうに重点を置けば、ふつうは気がつかないんだから、独創ってことになります。それだけのことでしょうが。

変な例ですが、ほかに例を思いつかないから、それをあげておきます。それは美男美女という例です。いちいち美男美女というのも面倒くさいから、とりあえず③美人ということにしておきます。

ふつうの女性の顔写真を百人分集めて、コンピュータで重ね合わせます。そうすると、むろんいささかピンボケ顔になりますが、それでも美人になるんです。これって、なかなかむずかしいでしょ。だって、フツウの顔を百重ねたって、フツウの顔にしか、なりようがないじゃないですか。ふつうはそう思う。でも、実際はそうじゃないんですよ。なんと美人になっちゃうんですよ、これが。

なんでだろうって、考えました。フツウの顔を重ねていくと、どんどんフツウになるのではなくて、どんどん「特別な」顔になっていく。ネッ、ここでわかるような気がしませんか。フツウの考えを「重ねて」いくと、だんだん「ノーベル賞級の考え」になっていくんですよ。つまりどこにcゴカイがあるかという、美人とは、稀な資質だと考えるところにある。そうじゃなくて、「あまりにも、あたりまえ」のことが、本質的なことなんです。あたりまえの極限が美人なん

です。同様にして、あたりまえの極限がノーベル賞なんですよ。【ア】

「お前はそんなこというけど、美人もノーベル賞も、世間にはほとんどいないじゃないか。たいていは④十人並みだよ」。私だって、そう思いますよ。じゃあ、なぜ「あたりまえの極限」が稀だと思われるのか。問題はそこですよ。「あたりまえ」のもののほど、フツウのものなんだから。【イ】

(中略)

顔の造作とか、研究業績とか、そうした「対象」は正規分布します。偏差値になるわけです。Ⅱ、それに評価が入るわけです。評価は直接に脳がするんですから、まさに主観というしかない。【ウ】

その評価に関する脳のはたらきは、十分には調べられていません。私はその性質について、議論しているわけです。その評価は、正規分布の中央に近づくほど、「うるさくなる」と思われます。なぜかって、それがいちばんフツウの対象だからですよ。フツウでないものに、dゲンミツな好みを作ってみても、生物としては意味がないじゃないですか。そんな対象には、めったに出会わないんですからね。フツウのなかでも、特にフツウな顔、それが美人なんです。【エ】

そういうわけで、「材料と方法」も科学の方法ですが、著者名も広い意味では方法ですし、⑤さらに使う言葉も方法です。それは英語だと、いまでは学界の常識が決めますが、べつにそんなことは国連で決めたわけでもない。日本語で書いたって、いいわけです。方法こそ、まさにその人が選ぶものなんですから。(中略)

いまの人は対象を選ぶことこそが、自分の選択だと思い込みすぎてるんじゃないんですか。それを「方法」だと考えてみると、対象に関する「うるささ」が減ります。仕事もそうでしょ。問題は仕事という対象そのものじゃありません。「仕事をどうやるか」、Ⅲ「仕事から自分がなにを得てくるかでしょ」。「給料に決まってるじゃないか」。すぐにそう思っちゃう。秀吉のe草履取りの話があるじゃないですか。どんな仕事であれ、そこから自分が得るものがどれだけあるか、それが重要なんです。

(養老孟司『養老孟司の人生論』)

(語注) 自然科学…自然現象を対象とする学問の総称。

紛争の影響…紛争とは学生と大学が対立状態になった大学紛争をさしている。筆者はかつて東京大学医学部の教授をしており、学生から研究室を追い出された経緯がある。剽窃…ひようせつ。他人の作品や論文を盗んで、自分のものとして発表すること。

メンデルの法則…遺伝学の法則。本文の前に、メンデルの論文が、生きている間に周りから全く受け入れられなかったと書かれている。偏差値…テストを受けた集団における個人の位置を客観的に表したものの。

問一 傍線部 a～e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 文中のⅠⅢに当てはまる言葉として適当なものを次の(ア)～(カ)よりそれぞれ一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) むしろ (イ) ところが (ウ) なぜなら (エ) そして (オ) つまり (カ) たとえば

問三 傍線部①「方法」とあるが、筆者にとつての「方法」として適当な例を次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- （ア）観察している葉を動かすために、ピンセットを使う。
- （イ）人間は生物なのかの問いについて考える。
- （ウ）自分自身が書いた論文の著者名欄に、自分の名前を記す。
- （エ）液体の反応を調べるために、3種類の薬品を入れる。

問四 Aに入る語句として適当なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- （ア）具体的な方法
- （イ）抽象的な方法
- （ウ）特殊な方法
- （エ）特別な方法

問五 傍線部②「独創的」とあるが、本文での説明として適当でないものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- （ア）周りの人には気づかないものであるが、必ず一回で理解できるもの。
- （イ）なかなか発見することはできないが、あたりまえのもの。
- （ウ）だれでも気づくことはできないが、学べば理解できるもの。
- （エ）よく学べば理解することができ、決して稀ではないもの。

問六 傍線部③「美人」とあるが、「美人」とはどのような顔のことか。本文中より十六字で抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問七 次の一文を入れるのに適当な箇所を本文中の【ア】～【エ】より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

《「いい」とか「悪い」とか、結局はいうんですよ。》

問八 傍線部④「十人並み」の意味として適当なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- （ア）多くの人数で協力すればできること
- （イ）適切な人数であること
- （ウ）集まっている人の能力の平均値のこと

(エ) 容貌や才能などが普通の程度であること

問九 傍線部⑤「さらに使う言葉も方法です」を文節に分けた場合、何文節となるか。漢数字で答えなさい。

問十 本文の内容と合致する説明として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) 他人の知見を活かし、独創的なものを生み出すと世間から認められる。
- (イ) 美しい女性の顔写真を集めて、コンピュータで重ね合わせると、より一層美人になる。
- (ウ) 研究業績の対象は正規分布し、分布の中央に近づくほど議論が活性する。
- (エ) 仕事から何を得てくるかが大事だが、給料のためにと考えるのが人間の本質である。

問十一 次の文章は、本文と同じ出典の別の箇所である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(文章B)

ノーベル賞クラスの仕事でも、他人が理解しなければ、評価のしようがありません。他人が理解できるということは、その他人も「同じことを考えている」ということじゃないですか。「でも、その人は自分では思いつかなかったでしょうが」。そうかもしれないし、そうでないかもしれない。みんなが理解できるということは、だれかが思いつく可能性が高いということですからね。

生物学史で有名な例をとれば、メンデルの法則がそうです。メンデルが生きてる間は、メンデルの論文はまったく認められませんでした。ダーウィンの手元には、メンデルから送られた論文の別刷があつたそうです。でもそれには、読まれた形跡がない。実際にダーウィンは、遺伝の法則を理解していませんでした。ところがメンデルの論文以後、三十年だかを経て、三人の学者がメンデルと同じ結論に達します。そこでメンデルの法則が再発見されるわけです。

つまりどんなにBといわれる仕事でも、他人が理解しなかったら意味がないんです。ところが、他人が理解するということは、「同じことを考えてる」ということですからね。

(語注) ダーウィン・・・イギリスの自然科学者。

(1) Bに入る語句を(文章A)から三字で抜き出し、答えなさい。

(2) (文章A)と(文章B)に共通していることとして適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) 全員が分かるということは、だれかがひらめく可能性が高いということ。
- (イ) ダーウィンのは、メンデルの書いた論文を全く読まなかったこと。
- (ウ) メンデルの法則は大変偉大で、全世界に衝撃を与えたこと。
- (エ) 優れた業績というものは、周りが理解できるものであること。

二 次の文章を読んで後の問一～問八に答えなさい。

慈恵大僧正は、じゑだいそうじやう近江国浅井郡あふみのくにの人なり。人数かなはざりければ、戒壇を①え築かざりけり。

浅井の郡司、仏事を修する間、この僧正を招きたてまつる。家の者、僧膳の料に、前にて②大豆を煎りて酢をかけるを、僧正、何しに酢をばかけるやと問はれければ、郡司いはく、「温かなる時に酢をかけつれば、にがみてよくはさまれ③さうらふなり。④しからざれば、すべりて、はさまれぬなり。」と言ふ。僧正、「いかなりとも、はさまぬやうやはあるべき。投げやるとも、はさみ食ひてん。」とありければ、「いかでさることあるべき。」とて、⑤争ひになりにけり。僧正、「勝ち申しなば、戒壇を築きたまへ。」とありければ、「やすきこと。」と⑥言ひて、煎り豆を投げやるに、一間けんばかり離れたまひて、一度も落とさず、はさまれけり。見る者、あさまずといふことなし。

郡司、一家多き者なりければ、人数を引率し、⑦不日に戒壇を築きてけり。

(源頭兼編『古事談』)

(語注) 慈恵大僧正…平安時代の僧の名。大僧正は、僧の官職の最上位。

近江国浅井郡…今の滋賀県の一部。

かなはざりければ…そろわなくて。

戒壇…寺院で儀式を行うために、石や土などで高く盛り上げた所。

仏事を修する…仏事(仏教の行事)をいとなむ。

僧膳の料…僧に出すお膳の料理。

にがみて…しわが寄つて。

いかなりとも、はさまぬやうやはあるべき…そうであつても、挟めないことがあるだろうか、いやない。

勝ち申しなば…もし勝ちましたら。

やすきこと…たやすいこと。

間…長さの単位。「一間」は約一・八メートル。

あさまずといふことなし…誰もが驚き、あつけにとられた。

引率…引き連れること。

不日に…すぐに。

問一 傍線部①「え築かざりけり」の意味として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

(ア) 築くことができた (イ) 築くことができなかった (ウ) つぶすことができなかった (エ) 固めることができた

問二 傍線部②「大豆を煎りて酢をかける」理由として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) 豆にしわが寄って、お箸で挟みやすくなるから。
- (イ) 豆が温まり、おいしく食べられるから。
- (ウ) 豆が滑りやすくなり、お箸で食べることができないから。
- (エ) 豆にしわができて、おいしく食べられるから。

問三 傍線部③「さうらふ」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問四 傍線部④「しからざれば、すべりて、はさまれぬなり」は、僧正の質問に対して、郡司が答えた一部であるが、僧正の質問に当たる言葉を、文中から十字以内で抜き出し、答えなさい。

問五 傍線部⑤「争ひになりにつけり」とあるが、誰と誰がなぜ争いになったのかの説明として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) 僧正と周りで見ている人との酢をかける前の豆をお箸で挟めるか挟めないかで争いになった。
- (イ) 僧正と周りで見ている人との戒壇を築けるかどうかで争いになった。
- (ウ) 僧正と郡司で酢をかけた後の豆をお箸で挟めるか挟めないかで争いになった。
- (エ) 僧正と郡司で酢をかける前の豆をお箸で挟めるか挟めないかで争いになった。

問六 傍線部⑥「言ひて」とあるが、このとき言ったのは誰か。最も適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) 僧正 (イ) 郡司 (ウ) お膳の料理を作る人 (エ) 周りで見ている人

問七 傍線部⑦「不日に戒壇を築きてけり」とあるが、郡司がそのようにできた理由となる箇所を、文中から五字以内で抜き出し、答えなさい。

問八 本文の「古事談」は鎌倉時代に成立した作品であるが、同じ鎌倉時代に成立した作品を次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (ア) 枕草子 (イ) 竹取物語 (ウ) 徒然草 (エ) 源氏物語

三 四字熟語や慣用表現に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の四字熟語には、それぞれ一字の間違いがある。解答例に従って、誤りの一字を正しい漢字に直しなさい。

(解答用紙には正しく直し、漢字一字を答えること)

(例) 問題「絶対絶命」——解答「体」

- ① 意気当合 ② 相思想愛 ③ 短刀直入 ④ 意味深重 ⑤ 奇想天涯

問二 次の①～⑤の()に身体の一部を表す漢字一字を入れ、慣用表現を完成させなさい。

- ① 悪徳商法だと知らず()に乗せられた。
② ()に火をともしてお金を貯める。
③ ひと段落ついたのに、さらに()が焼ける複雑な出来事が生じた。
④ 弟が()を鳴らしておやつをねだる。
⑤ 費用は相手がもつので、()が痛まない。

四 文法に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の傍線部と文法的に意味・用法が同じものを(ア)～(エ)よりそれぞれ一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- ① 春は桜の咲く季節だ。

- (ア) 兄の作った料理はとてもおいしかった。
(イ) 優勝して夢のような気分になる。
(ウ) スーパーで安いのを購入する。
(エ) これは私のペンである。

② 明日は雨が降るそうだ。

- (ア) 体がだるくて、どうやら熱もありそうだ。
(イ) 熱があるので、彼は会社を休むそうだ。
(ウ) このまま順調にいくと、何とかなりそうだ。
(エ) 雲が広がり、もうすぐ雨が降りそうだ。

問二 次の傍線部の敬語の種類を (ア) ～ (ウ) よりそれぞれ一つ選び、記号に丸を付けなさい。(同じ記号を何度選んでもよい)

- ① 先生の貴重なお話を伺う。
② どうぞ、召し上がってください。
③ 花はあちらにございます。
④ 先生がお書きになったものを拝見しました。
⑤ 先輩のおっしゃる通りでございます。

(ア) 尊敬語 (イ) 謙譲語 (ウ) 丁寧語

問題は以上です。

解 答 用 紙

国				語					
問題番号		答の欄		採点欄	問題番号		答の欄		採点欄
一	問一	a	顕微鏡	2	二	問五	ア イ ウ エ	3	
		b	ほ	2		問六	ア イ ウ エ	3	
		c	誤解	2		問七	一 家 多 き 者	3	
		d	厳密	2		問八	ア イ ウ エ	2	
		e	ぞうり	2	三	問一	①	投	2
	問二	I	ア イ ウ エ オ カ	2			②	相	2
		II	ア イ ウ エ オ カ	2			③	単	2
		III	ア イ ウ エ オ カ	2			④	長	2
	問三	ア イ ウ エ	3	⑤			外	2	
	問四	ア イ ウ エ	3	問二		①	口	2	
	問五	ア イ ウ エ	3			②	爪	2	
	問六	最初 フ ツ ー の な	3			③	手	2	
	問七	ア イ ウ エ	3			④	鼻	2	
	問八	ア イ ウ エ	2			⑤	腹	2	
	問九	(四) 文 節	2	四		問一	①	ア イ ウ エ	2
	問十	ア イ ウ エ	3				②	ア イ ウ エ	2
	問十一	(1)	独 創 的		3	問二	①	ア イ ウ	2
		(2)	ア イ ウ エ		3		②	ア イ ウ	2
二	問一	ア イ ウ エ	3		③		ア イ ウ	2	
	問二	ア イ ウ エ	3		④		ア イ ウ	2	
	問三	そうろう	2		⑤		ア イ ウ	2	
	問四	何 し に 酢 を ば か け る や	3		2点×18問 3点×3問		45		

45

2点×11問
3点×11問 55

受験 番号		名前		得点	
----------	--	----	--	----	--